

講義名	研究演習Ⅰ（単年度）				
講義コード	45207	授業形態		開講期・曜日・時限	後期 木曜日 5 時限
担当教員	岸野 啓一			ナンバリング・コード	
学部・学科				演習分野	
全学部・全学科				単年度ゼミ	
概要説明					
1. 目的 このゼミは、大学生として自らが学び、研究する能力を高めることを目的とします。 単年度ゼミのみの履修者には、「大卒」の社会人として活動するための基礎的な素養を身に着けることを目指します。 研究演習Ⅱへの編入を希望する学生には、その準備作業の一助となることを目指します。 2. 内容 このゼミでは、書籍や新聞の連載記事、自治体の計画書や実務の報告書などを素材として、自らが取り組むテーマを設定し、それに対する学習を通じて理解を深め、学習の成果をレポートしてまとめ、プレゼンテーションする形で行います。 履修者数に応じ、グループワークとすることもあります。					
主な卒業論文のタイトル					
教員よりの要望					
このゼミでは、自らが手を動かし、頭を使い、自分の言葉を使って発表し、他の人の発表に対する質疑応答をすることが求められます。 このため、毎回出席することは当然ですが、ただ出席して話を聞いているだけでは評価できません。自らが積極的に取り組むことが極めて重要です。 こうしたことから、他力本願の学生や消極的な学生（期限が近付けばきっと誰かが助けてくれるだろう、とりあえず出席だけしておけば単位はもらえるだろうという意識の学生）には不向きです。 他方、積極的に取り組み、積極的に発言し、自分の力を最大限に発揮したことが認められる学生は高く評価します。					
選考方法					

評価方法	
レポートの出来映え、プレゼンテーションの内容、日頃の取り組み姿勢、欠席の回数などを考慮して、総合的に判断します。	
教員英字氏名	研究室
Keiichi Kishino	II 棟 7 階 2702研究室
最終学歴	
神戸大学大学院 工学研究科 博士課程後期課程修了	
学位	
博士（工学）	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
[研究テーマ] 観光地やイベントの交通対策 （検討プロセスの体系化、需要マネジメントの方法論、効果検証、対策の評価など） 人口減少社会における公共交通計画 [研究業績] （1）著書 バスサービスハンドブック（共著・編集幹事、2006年、土木学会） 地域でつくる公共交通計画－日本版LTP策定のてびき－（共著、2010年、国際交通安全学会） （2）論文 岸野啓一、中尾司：トラフィックカウンターデータに基づく観光入込客数の推計，第8回都市交通政策・観光・交通行動研究に関する国際セミナー，2017． 岸野啓一：自治体による広域的な生活交通の確保方策に関する課題について，土木計画学研究・講演集，Vol.55，2017． 岸野啓一，高本恵三：活動機会を考慮したコミュニティバスの運行計画に関する実証的研究，第34回交通工学研究発表会論文集（研究論文），2014． など [社会活動] ・国際協力機構（JICA）国際研修・社会資本整備コース講師（1996年～現在） ・生駒市地域公共交通活性化協議会アドバイザー（2011年～現在） ・西宮市公共事業評価委員会会長（2019年～現在）	
趣味・特技	
[特技] 楽器（トロンボーン）の演奏。若い頃は学生オーケストラ、市民オーケストラで活動。現在は休眠中。 [趣味] クラシック音楽を聴くこと。鉄道に乗ること。ドライブすること。数字と戯れること。	
所属	
経済学部経済学科	
所属学会	
土木学会、日本都市計画学会、交通工学研究会、日本福祉のまちづくり学会	
専門分野	
総合交通計画、公共交通計画、交通需要予測、観光地交通計画	
担当科目	
都市交通計画、社会経済分析、行政学、地方行政論、公務員特別演習Ⅱ、研究演習Ⅰ（単年度）、卒業研究、空間市場分析特論（大学院）	
備考	
実務経験の有無及び活用	
実務経験あり。関係者の了解が得られる範囲で、実務の成果や得られたデータをゼミの題材として活用。	